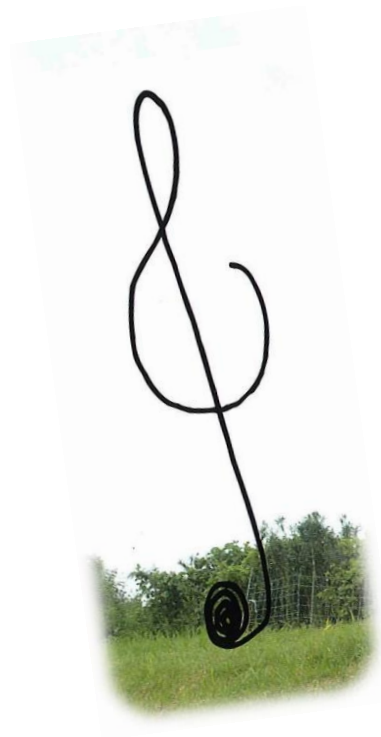


地域活性化プロジェクト **モノトーンKOTO2021-2025** (厚東地区地域計画)

モノ（者）トーンとは

いま厚東に居る者、これから住む者
や訪れる者、厚東に関わる全ての者
たちが奏でる協奏曲です。

一本の線で「とき」と「ひと」がつ
ながり、未来に続いていくのがモノ
トーンです。



令和2年12月

厚東地区コミュニティ推進協議会

厚東地区自治会連合会

NPO法人厚東ネット

目次

1 現況及び前計画の検証と見直し

- (1) 厚東地区の概況
- (2) 先駆的な地域づくり
- (3) 前計画の検証と見直し

2 地域活性化プロジェクト「モノ(者)トーンKOTO 2021-2025」

- (1) 計画期間と進行管理
- (2) 5つの基本方針
- (3) 活動の内容（概要）
- (4) 推進体制

3 おわりに

1 現況及び前計画の検証と見直し

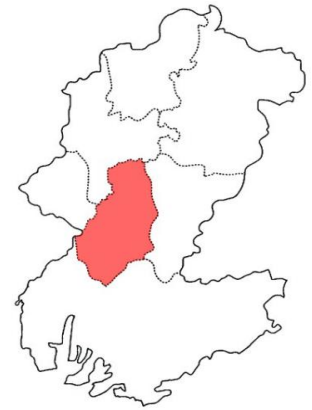
(1) 厚東地区の概況

厚東地区は、宇部市のほぼ中央部に位置し、面積は、24.33 km²で、北に万倉地区、東に二俣瀬地区、西には船木地区が隣接する、美しくのどかな田園風景が広がる自然豊かな地域です。

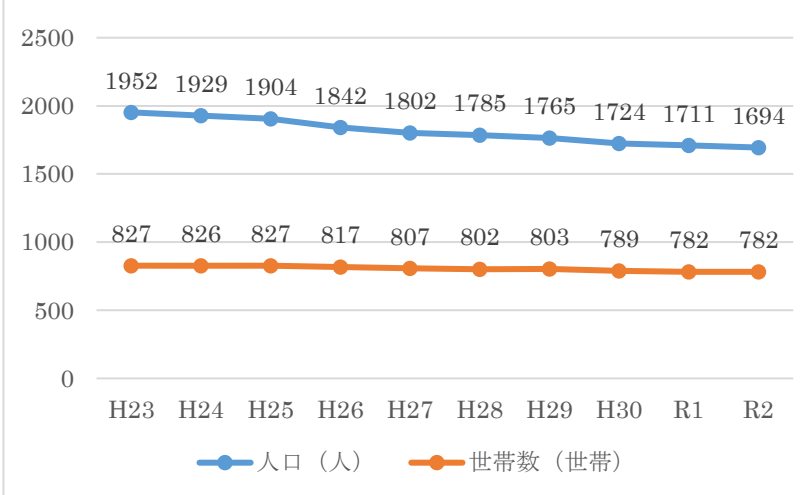
地区内の人口は、1,994人(782世帯)、65歳以上が768人、高齢化率は約45.3%となっています。※

今から700年前に戦国時代の武士が傷を癒したと言われる古い歴史を持つ持世寺温泉、県指定史跡の霜降城跡やいかだ下りが開催される厚東川があり、その他にも恒石八幡宮や千林尼石畳道、山陽道跡など、豊富な歴史的・地域資源を有する地域です。

※令和2年10月1日現在



厚東地区の人口・世帯数の推移



(2) 先駆的な地域づくり

厚東地区は、地域づくり活動の活発な地域です。特に子育て支援については、厚東ひだまり教室が平成17年度文部科学省第1回放課後子ども教室推進表彰を、また、厚東小学校コミュニティスクールが平成23年度文部科学大臣賞をそれぞれ受賞しており、全国的にも高い評価を受けています。

現在も、厚東地区コミュニティ推進協議会、厚東地区自治会連合会、NPO法人厚東ネットが中核となり、市内でも先駆的な地域づくり活動を推進しています。

(3) 前計画の検証と見直し

2017年度(平成29年度)から2020年度(令和2年度)までを計画期間とするKOTO未来創生計画「モノ(者)トーンKOTO」(厚東地区地域計画)では、「地区人口の増対策」「教育・子育て支援」「安心・安全な環境づくり」「地域資源の活用」の4つの基本方針で地域活動を進めてきました。これらの取組によって、様々な地域活動が展開され、過去4年間と比較し人口の減少率が6.2%から4.0%へ低下しました。

しかしながら、ここ最近の私達の暮らしや環境を見ると変化がめまぐるしく、計画作成当時に想定されていなかった事が沢山起っており、コロナ禍で生活様式やコミュニティのあり方も変わってきています。したがって、これからの厚東地区を考えた場合、地域計画の見直しが必要になってきました。

2 地域活性化プロジェクト「モノ(者)トーンKOTO 2021-2025」

(1) 計画期間と進行管理

地域活性化プロジェクト「モノ(者)トーンKOTO 2021-2025」の計画期間は、2021年（令和3年）4月から2025年（令和7年）3月までの4年間とします。

また、計画を着実に推進・展開していくため、以下の点に留意しながら、進行管理を行います。

・社会情勢に留意しながら、PDCAサイクルの実践により、地域が一体となって毎年評価と改善を実施し、計画の内容を適宜見直します。

(2) 5つの基本方針

厚東地区の地域づくりの基本理念である「厚東で暮らし続けたい、厚東に住んで良かった」を基本とし、地区の多様な主体が一体となって持続可能な地域を形成するため5つの基本方針を策定しました。

《チャレンジ1 ひとが集まる新たな地域づくり》

《チャレンジ2 人材を活かした教育・子育ての実現》

《チャレンジ3 若者支援の更なる推進》

《チャレンジ4 皆が認めあい活躍できる安全・安心な地域を実現》

《チャレンジ5 みんなで創るおもしろ厚東》

(3) 活動の内容（概要）

《チャレンジ1 ひとが集まる新たな地域づくり》

Point：環境の変化を敏感にとらえ、デジタル化の推進によって魅力ある地域を創生する

- スマホ等IT機器を活用し、地区内の情報伝達等を推進
- 見守り活動と支えあい活動の推進
- 「空き家」の利用促進と住みよい環境づくりによる人口の増加（情報収集、情報発信）
- 若者等への就農支援による就農者の拡大、スマート農業の推進
- 厚東地区出身者、旧居住者に「厚東に帰って来たい」と意識させる取組の推進
- リーフレットやSNS等による厚東地区の積極的なPR



《チャレンジ2 人材を活かした教育・子育ての実現》

Point : 子どもは地域の宝「厚東っ子はみんな育てる」

- 特色ある教育「教育の地」の創造（特認校、オータムスクール等の推進）
- 厚東出身者の（リモート）キャリア教育等による厚東人ネットワークの創生
- 学童保育ひだまりの活動支援
- 自然とのふれあい活動・体験学習の推進と竹林の活用
- 中高生と学童との学び舎の創造（ひだまりの講師にチャレンジ等）

《チャレンジ3 若者支援の更なる推進》

Point : 新しい時代の到来、だから若い力を！

- 若い世代の会（おやじの会等）を支援し、企画・実行の軸へ
- 若者の力が発揮できる場の提供
- 国内外の厚東出身者等とのネットワーク作り
- 次世代の新たな感覚を取り入れた取組の推進

《チャレンジ4 皆が認めあい活躍できる安全・安心な地域を実現》

Point : 高齢者も活躍できる安全・安心な環境をみんなで支える

- スマホ等を活用した情報伝達の推進と高齢者等情報弱者へのご近助サポートの推進
- 各自治会の特徴ある取組を支援・推進
- 民生・児童委員、福祉委員の活動支援
- 高齢者をひだまりの講師として招へい、地域の工芸伝承者等の活動を支援

《チャレンジ5 みんなで創るおもしろ厚東》

Point : 厚東の楽しみ方を更に高め、地区内外へPR

- 地区内の事業者との良好な関係を構築し、地元産業の発展を支援
- 観光資源や名所を活かした体験交流型ツーリズムの開催
- 従来イベントの見直しと新たなチャレンジ
- 地域団体の多様な連携の推進
- 統一ロゴ作成による地区内外へのPR

(4) 推進体制

前計画同様、「厚東次世代会議」にて推進していく。

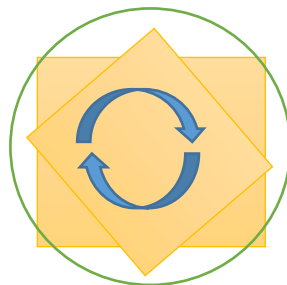
厚東次世代会議 **4サイクルエンジン**

○既存の母体

コミュニティ、自治連
霜降会、婦人部等

○地域づくりNPO

NPO厚東ネット（ひだまり、
見守り隊、らぶ厚東、竹林）



○若者・新しい力

おやじの会、消防団
子ども会、PTA
地域内の若者、サークル
県内外の厚東出身者

○コミュニティスクール（新）

学校、次世代の若者達

3 おわりに

2017年3月に“厚東に暮らしたい、厚東に住んでよかった”を実現するために KOTO未来創生計画「モノ(者)トーンKOTO」(厚東地区地域計画)を作成しました。

この計画は、目標達成するための基本方針として①地区人口の増対策、②教育子育て、③安心安全な環境づくり、④地域資源の活用の4つの方針を掲げ、その各項目に対し具体的な取組項目を定めました。

厚東地区のみんなでその各項目を実践する事で“厚東に暮らしたい、厚東に住んでよかった”が実現でき、そのための設計図だったと言っていると思います。

厚東地区としては、これまで計画に基づき多様な取組を行ってきました。

《世の中の変化!》

しかし、ここ最近の私たちの暮らしや環境を見ると変化がめまぐるしく、計画作成当時に想定されていなかった事が沢山起こっており、コロナ禍で生活様式やコミュニティの取り方も変わってきています。

したがって、これからの厚東地区を考えた場合、計画の見直しが必要になってきました。

《新たな計画作成…》

本来でしたら、地区の皆さんと議論し作成していくべきですが、コロナ禍でそのような機会が持てない事から、令和2年度の初頭から関係者と、現在の状況、これから予想される変化、これまでの取組状況等議論し、更に進化した計画《地域活性化プロジェクト「モノ(者)トーンKOTO 2021-2025」》を作成しました。

《みんなで創りたい!そして実現したい!》

もっと具体的な事が知りたいとか、もっとこうしたらいいとか、ほかにもこんな方法もある、こうしてもらいたいなど意見がありましたら事務局まで申し出ていただき皆さんの意見も取り入れ計画内容を適時更新していきたいと思えます。

そして少しでも早く皆さんと共に実行する事で“厚東に暮らしたい、厚東に住んでよかった”を実現していきたいと思えます。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。